

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

本剤の特徴 ●ボタンを押すだけの簡単始動
●ミクロの霧でよく効く
全量噴射式エアゾール剤(1回使い切りタイプ)



ライオン株式会社
〒130-8644 東京都葛飾区本所1-3-7
<http://varsan.lion.co.jp>
お問い合わせ先
ライオン株式会社 お客様相談室
☎(03)3621-6510
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

使い方(添付文書)

販売名:霧のバルサン 第2類医薬品

この説明文書をよく読み、定められた使用方法を守ってお使いください。間違った使い方をすると効力不足や健康を損ねることがあります。

効能

ゴキブリ、屋内塵性ダニ類、イエダニ、ノミ、トコジラミ(ナンキンムシ)の駆除

使用量

内容量	使用量	噴射時間
46.5g	6~10畳(10~17m ²)に1缶	約1分半
93g	12~20畳(20~33m ²)に1缶	約3分

有効成分

46.5gの場合 93gの場合
メトキサジアゾン…0.75g メトキサジアゾン…1.5g
ベルメトリン……………1g ベルメトリン……………2g
添加物として 炭酸プロピレン、安息香酸デナトニウム、エタノール、香料、DME

包装 46.5g 93g



使用上の注意



してはいけないこと (守らないと副作用・事故などが起こりやすくなります。)

- 1) 病人、妊婦、小児は薬剤(霧)に触れないようにしてください。
- 2) 人体に向けて噴射しないでください。霧を直接吸入しないでください。
- 3) 本剤の噴射時にくん煙剤を同じ部屋で同時使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。
- 4) マッチやライターなどで火をつけないでください。
- 5) 噴射後はすみやかに部屋の外へ出て、所定時間(1~2時間)以上経過しないうちに入室しないでください。駆除が終わったら直ちに窓やドアを開放し、十分に換気してから中に入ってください。

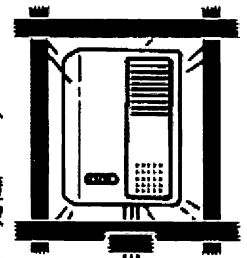


相談すること

- 1) 霧を吸って万一身体に異常を感じたときは、できるだけこの説明文書を持って直ちに本品がオキサジアゾール系殺虫剤とピレスロイド系殺虫剤の混合剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。
- 2) 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことがある人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

その他の注意

- 1) 定められた使用方法、使用量を厳守してください。
- 2) 本剤は可燃性ガスを使用しているので、火気には充分注意し、ガス湯沸器や内釜式浴槽の種火、ヒーター等は必ず消し、ガスの元栓は閉めてください。
- 3) 集合住宅等の集中管理方式のガス警報器の場合は、住宅管理者に連絡して使用してください。また、ガス警報器は噴射ガスに反応することがあるので、使用前にガス警報器をビニール袋で覆い、テープや輪ゴムで隙間がないようにしっかりと目張りをしてください。使用後は必ず覆いを取り除いてください。
- 4) 食品、食器、おもちゃ、飼料、寝具、衣類、貴金属、仏壇仏具、美術品、楽器、書物、はく製、毛皮、光学機器などに直接霧が触れないようにしてください。また、ペット、観賞魚、植物は部屋の外に出してください。
- 5) 精密機器(パソコンワープロ、オーディオ製品、ゲーム機など)にはカバーをかけ、DVD、CD、MD、フロッピーディスク、磁気テープなどは直接霧に触れるとまれに障害を起こすことがあるので、専用ケースに収納してください。大型コンピューターのある所では使用しないでください。
- 6) プラスチック製品や家具等は直接霧がかかるとシミや変色の原因となることがあるので、本剤から1.5m以上離すか、ビニールシート、新聞紙等で全体を覆ってください。
- 7) 本剤は床面中央に置き、必ず立てた状態で使用してください。
- 8) ボタンを押すと同時に上方へ薬剤が噴射するので、顔を近づけないように注意してください。
- 9) 皮膚に対して弱い刺激性があるので、薬剤が皮膚についた場合は石けんと水で十分に洗ってください。また、目に入った場合は直ちに水でよく洗い流してください。
- 10) 食器等に直接薬剤がかかった場合は水で洗い流してから使用してください。



保管及び取扱い上の注意

- 1) 飲食物、食器及び飼料などと区別し、火気や直射日光を避け、小児の手の届かない温度の低い場所に保管してください。
- 2) 缶が錆びるとガス漏れの原因となるので、水回りや湿度の多い場所に置かないでください。
- 3) 暖房器具(ファンヒーター等)の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かないでください。
- 4) 捨てる際には、火気のない戸外でボタンを押してガスが抜けていることを確認してください。
- 5) 使用後の容器は、各自治体の廃棄方法に従って捨ててください。

使用方法

1.霧のバルサンを始める前に。

- ①部屋の窓、換気口などを閉め、害虫の隠れ場所となる戸棚、引き出し、押入れなどはできるだけ開放してください。※本剤は可燃性ガスを使用しているため、ガス湯沸器や内釜式浴槽の種火やヒーター等は必ず消し、ガスの元栓は閉めてください。
- ②食品、食器、おもちゃ、飼料、寝具、衣類、貴金属、仏壇仏具、美術品、楽器、書物、はく製、毛皮、光学機器などは直接霧が触れないように収納するか、ビニールシートや新聞紙でカバーをする、あるいは部屋の外に出してください。※ガス警報器はビニール袋で覆い、テープや輪ゴムで隙間がないようにしっかりと目張りをしてください。



○衣類などは
タンスへ。



○食品などは
冷蔵庫へ。



○食器などは
食器棚へ。

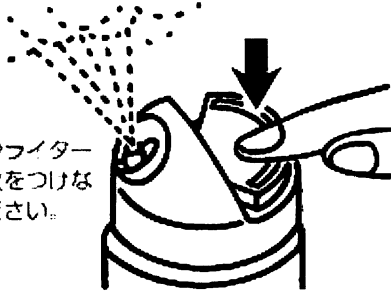
- ③ペット類や観賞魚、鉢植え植物は部屋の外に出してください。
- ④精密機器(パソコン、ワープロ、オーディオ製品、ゲーム機など)にはカバーをかけ、DVD、CD、MD、フロッピーディスク、磁気テープなどは専用ケースに収納してください。また、移動できない水槽、大型コンピュータのある所では使用しないでください。

2.霧のバルサンを始めます。

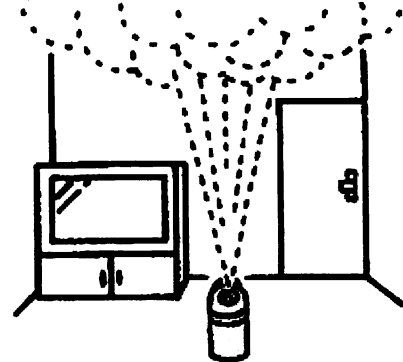
- ①部屋のほぼ床面中央に本品を置き、ボタンを指でカチッと音がして固定される位置まで押し込んでください。押し込むと同時に上方へ薬剤(霧)が噴射し始めますので、直ちに退室してください。

- ②霧が出たら部屋の外に出て、1~2時間またはそれ以上、部屋を閉め切った状態にしておいてください。

※マッチやライター
などで火をつけない
でください。



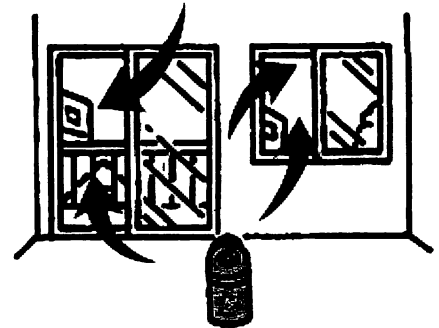
※容器を横倒しに置いたり、手に持って使用しないでください。



3.霧のバルサンをした後で。

- ①所定時間部屋を閉め切った後、霧を吸い込まないように窓や扉を開放し、十分に換気をしてから中に入ってください。
- ②使用後の容器は、各自治体の廃棄方法に従い捨ててください。
- ③万一食器などに直接霧がかかった場合は、水で洗ってからご使用ください。

※ガス警報器の覆いは必ず取り除いてください。



ワンポイントアドバイス



□ゴキブリは暖かく、水分やエサ(生ゴミなど)を摂りやすい所に生息し、主に夜間活動します。調理場や台所付近の整理や掃除に心がけ、ゴキブリの住みにくい環境を作りましょう。

□屋内塵性ダニ類は湿度が高いときに発生しやすくなります。日頃から部屋の風通しをよくし、餌になるチリ、ホコリがたまらないよう掃除に心がけましょう。

□イヌやネコには、ペット用のノミ取りシャンプーを使うことをおすすめします。イヌ小屋、ノラネコの居場所も粉剤で処理すると効果的です。また、ジュータンの中や下など霧が届きにくい場所に逃げ込んだノミには、十分な効果が得られない場合があるので、ご使用の際にジュータンをめくりあげて使用してください。

☆ゴキブリの卵は厚い殻に覆われていて退治が困難です。虫卵がふ化する時期(10~14日後)に再度バルサンをすると効果的です。
☆屋内塵性ダニ類は死骸もアレルギーの原因になると言われています。バルサンをした後、畳・カーペットのダニは掃除機をかけた後取り除きましょう。

☆寝具類のダニ退治には、天日干し後、入念に掃除機をかけるか、クリーニングをおすすめします。